

平成 24 年度家畜伝染病防疫合同訓練を開催

平成 24 年 8 月 30 日(木) 新潟県農業大学校（新潟市西蒲区）において、農林水産省北陸農政局、新潟県、公益社団法人新潟県畜産協会及び公益社団法人新潟県獣医師会の共催で、平成 24 年度家畜伝染病防疫合同訓練が開催され、畜産関係団体、富山・石川・福井県関係者、県内市町村、新潟県職員、北陸農政局職員等 237 名が参加しました。

訓練は、講演と実地訓練の 2 部構成で行われ、講演では、「家畜伝染病の水際対策及び国内における防疫対策について」と題して、農林水産省消費・安全局動物衛生課 課長補佐の松尾和俊先生と大倉達洋先生から口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病に対する我が国における対策について、解説をいただきました。

実地訓練では、高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した防疫作業が行われ、国と県職員 40 名が、防疫服やマスク等の着脱訓練や鶏の殺処分に係る捕鳥訓練などについて取り組みました。当日は、気温 34 度と猛暑の中でしたが、本番さながらの訓練に見学者の皆さんも真剣な表情で見入っていました。

訓練終了後には、大倉先生から「大変充実した内容の訓練であり、万一の発生に関係機関が連携して、迅速且つ的確な措置が行えるように今後も継続して実施して欲しい。」との講評をいただきました。



体育館での防疫服着脱訓練



ケージから鶏を取り出す捕鳥訓練



鶏の殺処分を想定した模擬訓練